

4/19
本誌



国会正門前で抗議のコールをする人たち。7日、東京都千代田区

「共謀罪」絶対止める

未来のための公共国会前抗議

「未来のための公共」は7日夜、毎週金曜日に呼びかけている国会正門前抗議を行いました。参加者は、与党によって審議入りが強行された「共謀罪」法案について「絶対に止めよう」などとスピーチ。「勝手にきめるな」「自由を奪うな」とコールしました。

大学生の奈良みゆきさんは、「共謀罪」法案が審議入りし

た。与党はきつと強行採決するつもりです。おとなしく法案を通させるわけにはいきません。止めたいと思っています。声をあげていきますしょう」と語りました。

「安全保障関連法に反対する学者の会」の西谷修さん（立教大学教授）がスピーチ。「安倍さんは「共謀罪」で、この国をめちゃくちゃにしようとして

や、中学武道への銃剣道の追加など、戦前に戻りそうな教育の動きに危機感を持っていきます。国民に奉仕する一人の公務員として、安倍政権に反対します」と話しました。

民進党の江崎孝、日本共産党の岩淵友、社民党の福島瑞穂の各参院議員がスピーチしました。

ている。それは日本全国で、国民がもの言わない社会にしようというものです。なんとしても止めよう」

埼玉県川越市から参加した男性（36）は、

「私は公務員です。共謀罪はもちろん、教育勅語の教材使用容認